

## 【環境委員会】

### (1) 審議概観

第153回国会において、本委員会に付託された法律案はなかった。  
また、本委員会付託の請願2種類24件は、いずれも保留とした。

#### 〔国政調査等〕

10月18日、川口環境大臣より環境行政に対する所信を聴取した。

10月30日、環境及び公害問題に関する調査を議題とし、質疑を行った。主な質疑としては、気候変動に関する国際連合枠組条約第7回締約国会議（COP7）に向けての我が国の取組方針と国内対策の在り方、牛海綿状脳症（いわゆる狂牛病）対策としての肉骨粉処理方策、PFI等による廃棄物処理施設整備促進策、環境リスクの評価方法及りリスク管理の重要性、渡瀬遊水池及び泡瀬干潟等の湿地保全の必要性、環境税についての検討状況、廃棄物処理施設解体等に伴うダイオキシン被害対策、循環型社会形成推進に向けての取組姿勢等の問題が取り上げられた。

また、11月22日、環境及び公害問題に関する調査のうち、COP7に関する件について川口環境大臣から報告を聴取した後、同件について質疑を行った。主な質疑としては、COP7に臨んだ環境大臣の対処方針、京都議定書の2002年発効の可能性、米国参加を求めたの継続協議の続行、不遵守の場合の罰則取扱い先送り理由、CO<sub>2</sub>排出削減に向けての国内対策の進め方、環境保全型産業の育成、地球温暖化対策大綱見直しのポイント、自販機や家電の待機電力の節減、エコ製品の低コストでの提供、ブラックバス等の外来種問題、泡瀬干潟の状況調査の必要性等の問題が取り上げられた。

### (2) 委員会経過

#### ○平成13年10月18日（木）（第1回）

- 理事の選任及び補欠選任を行った。
- 環境及び公害問題に関する調査を行うことを決定した。

#### ○平成13年10月30日（火）（第2回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 気候変動に関する国際連合枠組条約第7回締約国会議に向けての我が国の取組方針と国内対策に関する件、狂牛病対策としての肉骨粉処理方策に関する件、PFI等による廃棄物処理施設整備促進策に関する件、環境リスクの評価方法及りリスク管理に関する件、ジュゴンの保護に関する件、渡瀬遊水池及び泡瀬干潟等の湿地保全に関する件、環境税に関する件、廃棄物処理施設解体等に伴うダイオキシン被害対策に関する件、循環型社会形成推進に向けての取組に関する件等について川口環境大臣、風間環境副大臣、西野環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

○平成13年11月22日（木）（第3回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 気候変動に関する国際連合枠組条約第7回締約国会議に関する件について川口環境大臣から報告を聴いた後、同大臣、風間環境副大臣、植竹外務副大臣、大島経済産業副大臣、西野環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

○平成13年12月6日（木）（第4回）

- 請願第397号外23件を審査した。
- 環境及び公害問題に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中に委員派遣を行うことを決定した。